

令和6年度研修講座「教員ReStart支援講座」

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

群馬県教育委員会義務教育課  
教科指導係 高橋 学

1

## 1 はじめに



2

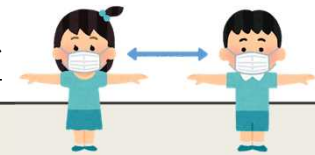
## 2 エージェンシーを発揮する 「自律した学習者」へ

3

## 学習指導要領の改訂

小学校 令和2年度 中学校 令和3年度より 実施

- 社会に開かれた教育課程
- 育成を目指す3つの資質・能力  
「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性等」
- カリキュラム・マネジメント
- 主体的・対話的で深い学び



4

エイジェンシーを発揮する  
「自律した学習者」へ  
～群馬県教育ビジョン(第4期群馬県教育振興基本計画)の実現に向けて～

自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す!

令和6年3月 群馬県教育委員会  
(エージェンシーを発揮するための学びを推進するリーフレット)

5

自分事化 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す!

エージェンシーを発揮(自律した学習者)

自分の思いや社会で動いていく人

6

3 教師が「～させる授業」から  
児童生徒が「～する授業」へ

7

### 学校教育の指針

～確かな学力の育成～

各教科等の目標に迫る  
「主体的・対話的で深い学び」の実現

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ  
エージェンシーを発揮する「自律した学習者」へ

授業デザイン	児童生徒の学び方改善	教師の役割の見直し
<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会と関連した単元・課題を構想する</li> <li>問題解決的な学習、探究的な学習を重視する</li> <li>自己決定、対話、交流、試行錯誤の場を授業の中に取り入れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒が自分たちで追究すべき課題を設定する</li> <li>課題解決に向けて、あきらめずに繰り返し挑戦する</li> <li>児童生徒が自分の学びを自覚できる振り返りをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習のゴールを共有し、伴走者として支援する</li> <li>児童生徒が学びを自己選択できる環境を整備する</li> <li>児童生徒の学びの姿を適切に見取り、フィードバックする</li> </ul>

【個別最適な学び】 指導の個別化 学習の個性化

【協働的な学び】

学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料(文部科学省)

日常的なICT活用 ICTを活用した高度学習のシステム  
各課と学校が学びをつらやみ連携の取組事例 「オンラインでも」地域の人的な資源を活用しよう  
オンライン授業の活用

8

## 学校教育の指針

～確かな学力の育成～

◎児童生徒が「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す」中で、資質・能力を育成できるように、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進しましょう。

出ばなく結果の指導アツクは  
出ばなく結果の指導アツクは  
Version

各教科等の目標に迫る  
「主体的・対話的で深い学び」の実現

問題解決的な学習と実態させるICT機器  
各教科等授業改善のビジネス上

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ  
エージェンシーを醸成する「自律した学習者」へ

授業デザイン 児童生徒の学び方改善 教師の役割の見直し

【個別最適な学び】 エージェンシーを醸成 【協働的な学び】

指導の個別化 学習の個性化

学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料（文部科学省）

日常的なICT活用 ICTを活用した家庭学習のシステム 「オンラインでも」地域の人的又は物的な資源を活用しよう  
家庭と学校の学びをつなげた授業の実践事例 オンライン授業の進め方

教師が「～させる」授業から、  
児童生徒が「～する」授業へ

9

## させる授業？ する授業？

- 「今日は～してほしいと思います。」
- 「今日のめあてはこれです。」
- 「それはまだ言わないでね。」
- 「～さんがいいことを言ってくれました。」
- 「今日の勉強は、わかりましたか？」

10

## 児童生徒の学び方改善

- 児童生徒が自分たちで追究すべき課題を設定する
- 課題解決に向けて、あきらめずに繰り返し挑戦する
- 児童生徒が自らの学びを自覚できる振り返りをする



11

## 授業デザイン

- 日常生活や社会と関連した単元・題材を構想する
- 問題解決的な学習、探究的な学習を重視する
- 自己決定、対話・交流、試行錯誤の場면을授業の中に取り入れる

12

## 授業デザイン

《 取り入れたい場面 》

**自己決定**

当事者意識を持ち、主体的に学習に取り組む

**対話・交流**

自分の考えを広げ、他者との共感や理解を深める

**試行錯誤**

失敗や誤りから学び、より効果的な解決策を導く

13

これまで

全員が効率よく  
ゴールにたどり着く  
ために

14

**発達障害**の可能性がある子供  
(学習面or行動面で著しい困難を示す)

- ADHD(注意欠如多動性障害)
- LD(学習障害、読字障害)
- ASD(自閉スペクトラム)

**発達障害のある子供** 2.7% (7.7%)

**特異な才能**のある子供

授業が暗で苦痛、価値観や感じ方の共感も得られなくて孤独、発言すると授業の雰囲気を変えてしまう。

小3から中学数学、小5で数II日をやっていた。4歳のころ進化論を理解して、8歳で量子力学や相対性理論を理解していた。

**不登校・不登校傾向**の子供

不登校率: 0.4% (1.0%)  
不登校傾向: 4.1% (11.8%)

小学校 35人学級

**家庭の文化資本**の違い

- 家にある本が少ない子供: 10.4% (29.8%)
- 家で日本語をあまり話さない子供: 1.0% (2.9%)

**子供たちの特性や関心・意欲は様々**

- 話すこと・聞くこと、書くこと、読むことが得意な子供
- 音やダンスで表現することが得意な子供
- 興味や関心が拡散しやすい子供
- 文字情報・音映像などの情報の扱いが得意な子供
- 特定の分野に極めて高い集中力を示す子供
- 特定の分野などに、関心・意欲や知的的好奇心が旺盛な子供

※併示している特性が重なっているケースも多い。※特性として示している子供についても、状況にはグラデーションがあり、様々であること。※心のほかにも、学校には、病気療養で学的に進まない子供やいじめやヤングケアラー等、多様な背景や困難を抱える子供が存在している

Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ<中間まとめ>より

15

これから

自由に思考したり  
活動したりする  
枠組みを広げる

16

## 教師の役割の見直し


- 学習のゴールを共有し、伴走者として支援する
- 児童生徒が学び方を自己選択できる環境の整備をする
- 児童生徒の学びの姿を適切に見取り、フィードバックする

17

## 伴走者としての教師の役割

### 見守りつつ、適切な支援を行う

(問いかけ・発問)



### エージェンシー

信じて

任せる

そして、待つ

18



グーとパー

失敗してもいいんだ



どちらを指しますか？



対話交流

19

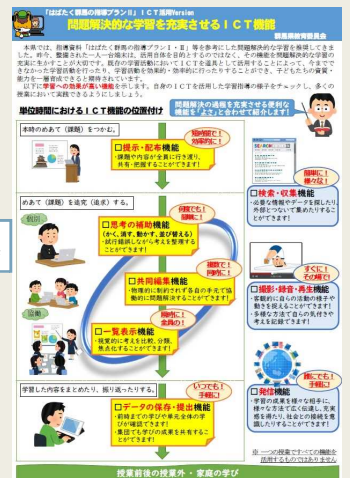
## ICT活用

### 問題解決的な学習を充実させるICT機能

- 提示配布機能 (短時間で！ 効率的に！)
- 思考の補助機能 (何度でも！ 簡単に！)
- 共同編集機能 (複数で！ 同時に！)
- 一覧表示機能 (瞬時に！ 全員の！)
- データの保存・提出機能 (いつでも！ 手軽に！)

- 検索・収集機能 (簡単に！ 様々な！)
- 撮影・録音・再生機能 (すぐに！ その場で！)
- 発信機能 (誰でも！ 手軽に！)

試行錯誤



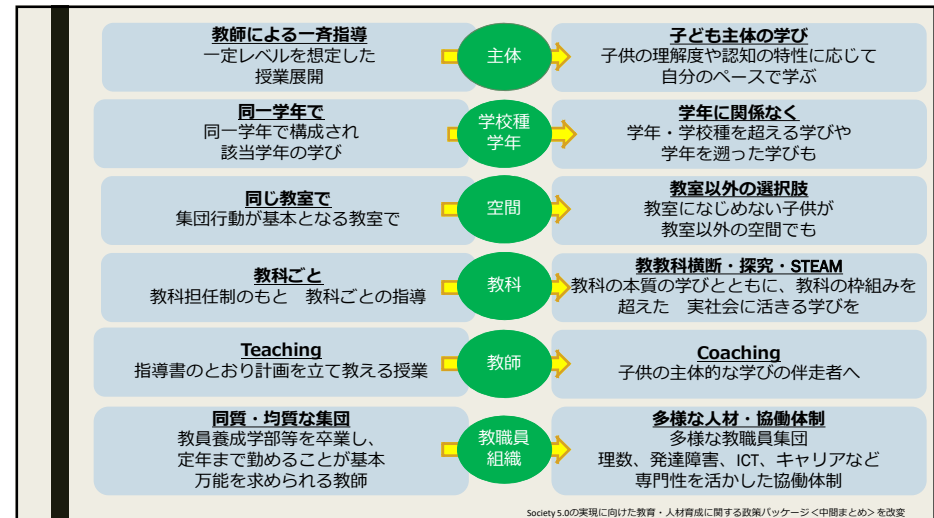
20

## 自身の授業の省察 (Reflection)

- ねらいの達成状況は？
- 「～させる」授業になっていないか？(教師の発話量)
- 自己決定、対話・交流、試行錯誤の場面があるか？
- 児童生徒の振り返りの時間は十分確保できたか？



21



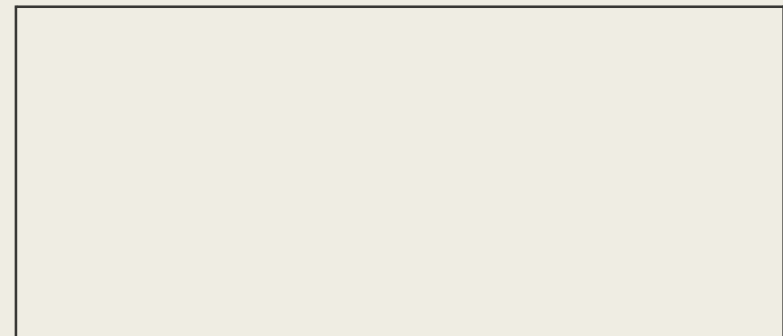
22

## 本日のまとめ

- ◎自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す
- エージェンシーは誰の中にもある
  - ・信じて、任せる そして、待つ
- 教師が「～させる」授業から、  
児童生徒が「～する」授業へ
  - ・間違いを想定した単元構想や教材研究
  - ・自身の授業を省察する

23

## 本日の振り返り



24